

事務事業名		普通河川野々前1号河川改修事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																				
政策体系	政策名	05 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間																					
	施策名	17 自然災害対策の推進		区分																					
	基本事業名	03 洪水・土砂対策の推進		期間限定複数年度																					
根拠法令		-		※期間欄に計画期間を記入																					
所属	部課名	都市整備部建設課		【計画期間】																					
	課長名	長岩 智徳		令和2 年度～ 令和5 年度																					
	係名	土木係	電話 0192-27-3111	※全体計画欄の総投入量を記入																					
	担当者	熊谷 咲絵	内線 316	事務事業区分																					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																					
普通河川野々前1号は、近年の台風大型化及び頻発する豪雨により、上流域の天然護岸の洗堀が進行し、近隣の民家等に影響を及ぼすおそれのある危険箇所が散見されることから、河川改修を行ない、周辺住民の安全性確保を図るものである。				<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>64,144</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>67</td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>64,211</td></tr> <tr><td>正規職員従事人数</td><td>8</td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td>1,472</td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>5,888</td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>70,099</td></tr> </table>		国庫支出金	0	都道府県支出金	0	地方債	64,144	その他	0	一般財源	67	事業費計(A)	64,211	正規職員従事人数	8	延べ業務時間	1,472	人件費計(B)	5,888	トータルコスト(A)+(B)	70,099
国庫支出金	0																								
都道府県支出金	0																								
地方債	64,144																								
その他	0																								
一般財源	67																								
事業費計(A)	64,211																								
正規職員従事人数	8																								
延べ業務時間	1,472																								
人件費計(B)	5,888																								
トータルコスト(A)+(B)	70,099																								
【計画期間】																									
・測量調査設計(1式) 令和2年度～令和2年度																									
・用地補償 令和3年度																									
・工事施工(L=286m) 令和2年度～令和5年度																									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位
工事施工(L=108m)	ア 測量調査面積	m ²
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ 施工延長	m
工事施工(L=96m)	ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
普通河川野々前1号 周辺地区住民	名称	単位
	カ 計画総延長	m
	キ 周辺地区住民数	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ク	
河川が整備される。 周辺地区住民により安全に利用してもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
	名称	単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	サ 整備される河川延長	m
安全に活動できる。	シ 洗堀による被害を抑制できる区域	m ²
	ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	7,344	26,800	20,680	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	18	49	0	0	0		
	人件費	事業費計(A)	千円	7,362	26,849	20,680	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	2	3	3	0	0	0	
		延べ業務時間	時間	368	552	552	0	0	0	
		人件費計(B)	千円	1,472	2,208	2,208	0	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	8,834	29,057	22,888	0	0	0	
⑤活動指標	ア	m ²	2600	2600	2600	-	-	-		
	イ	m	108	108	96	-	-	-		
	ウ									
⑥対象指標	カ	m	108	108	96	-	-	-		
	キ	人	50	50	50	-	-	-		
	ク									
⑦成果指標	サ	m	108	108	143	-	-	-		
	シ	m ²	2000	2000	2650	-	-	-		
	ス									

事務事業ID	1833	事務事業名	普通河川野々前1号河川改修事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	被災による河川改修として令和2年度より事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地域の理解が進み、協力的になった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	地域から早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 整備により、安全・安心に利用できることで都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 被災に起因した整備であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 十分な幅員での計画延長となっており、これ以上の成果向上が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 護岸の洗堀が進み、安全で安心に利用できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の「費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限で来往していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 公共物であることから、受益者負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 令和5年度に事業完了予定。																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	令和5年度に事業完了予定。地元住民等から早期完成の要望を受けていることから、工事完成に向けて着実に事業を進めていく。